

図2 わが国の陸封型イトヨ生息地

平成2年3月

山中 實

- 北海道・大沼湖沼群
(山中寅 1979)
大沼、小沼、じゅんさい沼に多数生息する。
- 北海道・久根別川
(山中寅 1979)
30年ほど前より発電所のダムができて降水量のそり上がりできない。

青森県十和田市・県内水面水産試験場
十和田湖町・十和田湖

秋田県大館市・米代川水系
生息個体数は減っている。米代川水系の才川、下丙川等の各所に生息地が、近年の河川改修、土地改良工事で生息地が減っている。
保護指定や特別な活動はない。

福島県喜多方市・押切川公園
河川合流工事で生息地を追われたイトヨウが、荒川敷地に適養殖された西沼川に生息した。池の底には約11アールで湧水量が多い時は約1万尾が生息したが、公園の工事を繰りかえすことに伴い減がひどく不安定である。工事が完了すれば、定住できそうである。

福井県大野市「本願清水平トヨ生息地」
昭和9年5月1日に国の天然記念物に指定されている。池の広さは約30アール、生息個体数は増えて約1万尾となる。10月下旬~4月中旬に湧水が枯渇するので、揚水ポンプと揚水機工場からの送水により水量確保する。
トイ子を守る会の協力で人工池の囲い、池そじり、草刈りをしている。

北浦道、姫株川 旧河川に生息
(鶴口正仁1989)
北浦道、支笏湖
(近年報告あり、増えている。)
北浦道、錦多條川
(鶴口正仁1989)
下流部は河川改修により直線化
上流の貯水池に多数生息。近く
の北大演習林内の池に生息。

- 北海道・雨竈人工湖
(建立立化協調査資料1977)
- 北海道・常呂川
(小林 弘1957・常呂町百年史)
- 北見市付近の旧河川と用水網に生息
- 北浦道・釣路川の勇水域
(山代昭三1975)
- 北海道・屈斜路湖
(高安・沢1933)
- 北海道・阿寒湖
(川井洋司1972)

北海道・十勝川水系
(足田豊雄1956・1978確認)
札内川の伏流水の小河川。旧途
別川の源より化粧湯付近の湧水池
北海道・春採湖
(1989鶴口正仁)
天然記念物のヒブナ生息。生息
数多いトヨタ。ヘドロ等で透明
度低く観察しにくい。

北海道・足寄湖川
(鶴口正仁1989)
頭原内を流れる本流や止水域に
生息する。

福島県北会津村「白山沼イトヨ生息地」
昭和51年4月6日に県の天然記念物に指定された。約33アールの池で1万尾ほどが生息する。冬期間は湧水が減少するので、地下水を揚げて補給する。この池の水は農業用水として昔から利用されている。個体数はやや減少の傾向にある。近くに北会津村指定の「頭無イトヨ生息地」がある。

福島県会津坂下町「青木イトヨ生息地」
昭和47年9月8日に町の天然記念物に
指定された。湧水源につながる細流約
0.8アールに150尾ほどが生息する。
この流れは地域住民の生活用水でもあり
飲み物を冷やしたり洗い物にもなって
いる。保護看板が2基設置してある。
個体数は減少傾向にある。

栃木県大田原市「園城イトヨ生息地」
昭和29年3月29日に県の天然記念物指定をうけている。生息数はふえているようだが約200尾ほどである。平成元年3月に生活排水が生息地に流入しないように工事をした。昭和62年にイトヨ保存会をつくり、川のバトロール・草刈り、こみさらいなどをしている。



○ 天然記念物指定地

● イトヨ生息地